

1. みのお家はやりくり上手？

毎月のやりくり

平成19年度決算を、家庭にあてはめるとどうなるかな？

市の決算を、年収500万円の給与収入の家庭(以下、「みのお家」と呼びます)まで縮小し、家計の類似する科目に置きかえたのが、下の表です。(市決算のうち土地開発公社への単年度貸付金は収入・支出から控除しています)



[単位:円]

	市の決算科目	みのお家の家計簿	今年	昨年	5年前
収入	市税など	家族で稼いだ収入(給与・パート賃金等)など	416,667	416,667	416,667
	国・府支出金など	兄や姉からの仕送り	115,347	128,834	137,133
	繰入金・繰越金	貯金の取り崩しなど	60,785	59,299	52,918
	市債	借入金	25,989	29,142	127,944
	歳入合計	一ヶ月の収入	618,788	633,942	734,662
支出	人件費	食費や衣料品費など	171,285	174,142	176,171
	扶助費	子どもの保育料や親の医療費など	72,220	69,647	61,347
	公債費	住宅や自動車などのローン返済	67,250	72,571	70,615
	物件費	仕事道具や学用品の購入、光熱水費など	110,503	107,628	105,899
	投資的経費	大型テレビや自家用車の購入、自宅の改築など	42,801	55,774	155,511
	繰出金	子どもへの仕送りなど	54,020	54,021	43,530
	補助費等	自治会の会費や親戚の事業への援助	56,113	55,051	64,625
	その他	定期預金の積立など	19,693	19,248	42,034
	歳出合計	一ヶ月の支出	593,885	608,082	719,732
収支	形式収支	差 引	24,903	25,860	14,930

みのお家の今年の月収は61万9千円で、そのうち給与は41万7千円です。残りは、兄や姉からの仕送りや貯金を取り崩した収入です。

一方、支出総額は59万4千円で、そのうち基本的な生活費が42万1千円となっています。月々の給与だけでは、基本的な生活費を賅うこともままならない状況となっています。

みのお家では、家計をスリム化するために、いろいろな工夫(「14の処方箋」と呼んでいます)を実践しています。



財産と将来の負担

平成19年度のバランスシートをみのお家にあてはめるとどうなるかな？

次に、みのお家のバランスシート(貸借対照表)を見てみます。みのお家にはどのような資産があり、どのような借金があるのかが一目でわかります。



借方		貸方	
・車や家などの財産	3,979万円	・住宅ローンなどの残高	651万円
・定期預金	269万円	・老後に必要なお金	170万円
・普通預金	202万円	将来に支払うお金	821万円
・株式などの証券	287万円		
・友人に貸しているお金	37万円		
・その他	32万円		
	4,806万円	支払い済のお金(正味資産)	3,985万円

注: 市の資産には、道路などの売却できない資産が含まれていますので、一般家庭や企業との単純な比較はできません。

ここ数年の将来負担は...

平成20年3月31日現在は、借金などの負債が821万円ありますが、その返済に充てられる現金・預金などが827万円あるので、将来に負担を先送りすることなく車や家などの資産形成ができてきている状態となっています。

